



2026年7月号
発行:二輪草センター

合同入局説明会 終了報告

二輪草副センター長 横浜 祐子

2026年6月12日に合同入局説明会が開催されました。

この会は毎年、二輪草センター、卒後臨床研修センター主催、医学部医学科同窓会共催で行われております。テーマは“先輩医師の研修の様子をお聞きしよう！”です。

事前に医学科5～6年生にアンケートをとり説明を聞いてみたい科として選ばれた上位3科に発表していただきました。(前年度に選ばれた脳神経外科、小児科、血液内科以外で投票を行いました。)

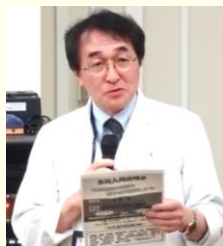
なお他の科はポスターで特色や研修の様子がわかる発表をしていただきました。学生さんが熱心にポスターを見ており、自分の将来を具体的に思い描くのに、役立つ情報がたくさんあったのではないかと思います。

はじめに西川祐司学長から、この合同入局説明会で学生と年齢の近い先輩方から具体的に話が聞けることをご評価いただきました。そして旭川・道東・道北の地域を支え、かつ最先端の医療を担う当学の使命についてお話しいただきました。

循環器内科 竹内健汰先生からは「若手循環器内科医のキャリア形成とライフデザイン」をテーマにご講演いただきました。当院と旭川厚生病院での初期研修、遠軽厚生病院での後期研修の各々の特徴や、どのように手技を獲得し、内科の専門医をとったのか具体的にわかる発表でした。また生死にかかわる疾患を劇的に良くすることができる循環器内科の魅力を教えて下さいました。これから道を選ぶ後輩の皆さんに自分の興味のある分野でなければ長続きしないというメッセージをいただきました。学生さんから興味のある科はあるがやっていけるだろうか悩みを聞くことがしばしばありますが、そのような学生さんの背中を押してあげる力強い言葉と思いました。

消化器外科(現 北見小林病院) 榎本 克朗先生は「自由に外科医をやること」をテーマに講演して下さいました。外科は幅広い知識がベースにありながら治療をすることが必要であり、当院では複数の分野の外科が垣根なく同じ医局に属し相談がしやすいこと、自分にあったやり方で働いていけること、時には進路変更も行えること、若手であってもアイデアを出して研究を応援してもらえたこと等先生が“自由”と感じたことを教えて下さいました。この垣根のないシステムは、患者さんのためにも働く医師のためにもなると感じました。外科を志す学生さんは当院ならではの柔軟性のある特色に魅力を感じたのではないのでしょうか。

救急科 佐藤研斗先生からは「救急は専門性のない科なのか」をお話し下さいました。指導医に恵まれた話をされていましたが、ご自身もインストラクターとして教育に力を注いでおられ、今後は指導医として後進の育成を担い、若手医師を導いていかれることと思いました。



西川祐司学長



竹内健汰先生



榎本克朗先生



佐藤研斗先生

非常に印象的であったのが多重の車両事故の話で、このような時救急科の先生方は現場と受け入れ先のコントロールを行い、一挙に多くの命を救う広い視点を持ち、迅速な対応をしておられるのです。臓器としての専門はないかもしれないが、専門性のある科とお話し下さいました。まさにこれは救急科の先生にしかできないプロフェッショナルな仕事です。3人の先生方がそれぞれに科の魅力をお話し下さいました。学生さんは、先輩方のようになりたい！と思って進んでいけば、自分の未来が叶うことがわかり、希望を持ったのではないかと思います。またどの先生方も指導体制のすばらしさを話して下さいました。卒後臨床研修センター牧野雄一センター長から、発表された先生方それぞれ、紆余曲折や大変さがあったと思いますが、非常にたくましく自分の花を咲かせているとお話しいただきました。

また、研修医が選ぶ優れた指導医の表彰式も行われ、瀧澤朋紀先生(消化器・移植外科、現在 遠軽厚生病院勤務)が牧野教授から表彰されました。当日はご欠席されましたが、表彰状、記念品を後日お送りいたします。日々研修医の教育にご尽力されており、多くの研修医が深い学びにつながったことを感謝致します。

当日は54名の参加がありました。医学科学生・研修医のアンケートでは、「若い医師による発表だったので近い将来を考えるきっかけになった」「それぞれの診療科の特徴やキャリアプラン等を知ることが出来てよかった」「研修医時代の悩み、葛藤が聞けて良かった」「各科の魅力がわかりやすくまとめられていてよかった」「学生の理解度に合わせた内容で興味が持てた」などの回答がありました。

牧野雄一教授



表彰の様子

【2026 ベストポスター賞】
✿ 皮膚科 ✿
おめでとうございます！



なお今年度のベストポスター賞は皮膚科が受賞されました。デザインがよく、わかりやすいと好評でした。

お忙しい中、ご発表、ご挨拶をいただきました先生方、ポスターを作製して下さいました先生方、誠にありがとうございました。



会場の様子

毎年開催しておりますので、医学科学生、研修医の皆さん来年もどうぞご参加下さい。

病児・病後児保育室、バックアップナース、問い合わせ・カウンセリング相談 【6月20日～7月19日までの利用状況】

病児・病後児保育室	依頼回数	16 回	利用回数	15 回
バックアップナース	依頼回数	18 回	利用回数	17 回
問い合わせ数			1 回	
カウンセリング相談			2 回	

※病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL : 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX : 0166-69-3249

開設時間 8時30分～16時45分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

